

「イギリスにおける労働者階級の状態」に学ぶ

第8回 関東ブロック

「その他の労働部門」・「労働者運動」

はじめに

その他の労働部門の労働者の状態

司会…前月号では、工場労働者の状態を見てきました。今月号は、工場労働者以外の「その他の労働部門」の労働者を対象に分析していきます。

工場労働者とは工場法の下で働く労働者であり、イングラントで最も数が多い労働者と言っています。本章の「その他の労働部門」では、この労働法が適用されない労働者の状態を観察していきます。

では、本章の「その他の労働部門」の労働者についてレポートをお願いします。

功刀…前章で工場制度について述べられたことは、その他の労働者にもあてはまるので、その独自性について報告すればいいと言っています。具体的な各部門の労働者の状態は、表1の通りです。

そして、エンゲルスは「いたるところで機械が利用され、労働者の独立性が跡形もなく根絶される。いたるところで家庭は妻や子供の労働で解体され、あるいは夫の失業で逆立ちさせられる。―中略―所有の集中が進み、大資本家と無産労働者への社会の分裂は日々鋭

さを増し、国民の工業的發展は、必至の危機に向かって大股で突き進む」(96頁)「これがイングラントの工業プロレタリアートの状態である。困窮、病、墮落を目にする。破滅、人間性の破壊を目にする。このような状態がいつまでも続いてよいのであろうか？この状態は続いてはならないし、また続かないであろう。国民の大多数をなす労働者はそれを望んでいない」(102頁)と述べています。

司会…今のレポートで工場労働者も長時間労働で、生活や健康状態も非常にひどいんですけども、ここその他の労働部門の労働者の状態は、それよ

◆みんなの学習講座

靴下編工	6歳～8歳から多湿な部屋で10～12時間働く。身体全体が虚弱、視力を弱くする。靴下編工は最も賃金の低い労働者。大型編み機の導入によって20シリングから7シリングに賃金低下。
レース製造業	2才からの子供の就業。ひんぱんな夜間労働。乱れた生活様式が心身の害悪を生む。若い時の性交。多くの機械は蒸気力で動き、男の仕事が駆逐される。近視盲目、腺病質、子宮機能障害、脊椎湾曲。
綿捺染工場	手仕事を完全に駆逐。200人の仕事を一人の男と子供一人。失業と低賃金。子供の長時間労働。
漂白工	はなはだ不健康な労働。塩素を吸う。
金属製造業 金属加工業	手工業的性格が残っている。小親方は真のプロレタリアでもなく、真のブルジョアジーでもない。多数の女と子供の雇用。状態は靴下編工の状態と同じだ。犯罪、不純性交。
鉄工業(粗鉄製品)	分業も蒸気力も機械も利用されていない。豚小屋のような小屋に住み、子供は発育不良、教育水準は低い。研磨工喘息
機械製造業	機械を機械で作る。多くの労働者の失業。
製陶業	高温作業のため肉体虚弱、胃病、肺病、鉛とヒ素中毒。子供のてんかん。子供は12時間労働で教育水準が低い
ガラス製造業	高温作業。子供の発育不良。眼病、下腹部疾患、気管支炎、リウマチ
装身具製造女工 裁縫女工	レース編み業と同じ。15時間～22時間労働
ロンドンの裁縫女工	残酷な搾取。2、3年の間に健康を害し、若い身空を墓に急ぐ。

表1 「その他の労働部門」の労働者の状態

* 「子供」の表記はテキスト岩波文庫版による

りも、なお、ひどい状態だつていうのがわかるんじゃないかなと思います。
広岡…大量生産で機械を導入してどんどん、産業が発達していきますよね。でも、ここその他の労働部門は家内工業にちよつと毛が生えたようなもので、レース製造とかは大量生産がされていないだろうという感じがすかね。
功刀…そうですね、大工場や大量生産がしづらい部門ですね。しかし、工場制度があらゆる部門へ、機械があらゆるところで採用され、その結果悲惨な労働者の状態がつくられたということです。

工場法が適用されない労働者

広岡…この章でわざわざ「その他の労働者」と分けてるっていうのは、どういう理由で分けられちゃっているのかな。

小林…それは、工場法が適用されるか

どうかじゃない。

功刀…ポイントは、10時間労働ですよ。この当時は、12時間、14時間労働が当たり前みたいなの、日本で言えば女工哀史みたいな働かされ方ですね。イギリスでもそういう風な時期があったんですね。だけど、工場労働者は、大勢の労働者が集まるから、色々話をするし、不満も出てくるし、団結もしやすいってことで、闘いも出てくる。労働組合も結成されるようになる。そして労働時間の短縮と児童労働と女性の保護を要求した。

1833年に工場法が制定され、9歳未満の労働を禁止し、9歳から18歳未満の労働時間を一週間あたり69時間以内と制限した。1847年改正で若年労働者と女性労働者の労働時間を一日あたり最高10時間に制限した。だけど、その法律がこの「その他の労働部門」には及ばなかったっていうことです。

今、広岡さんの質問で、なぜ工場労働者とその他の労働者を分けたのかは、エンゲルスはその他の労働者の状態がもっとひどいということを言いたかったのじゃないのかね。

労働運動へ積極的に参加

功刀…エンゲルスが強調してるのは、「所有の集中が休みなく前進し、大資本家と無産労働者への社会の分裂は日々鋭さを増し、国民の工業的發展は必至の危機に向かって大またで突き進む。よって手工業者を労働者運動への積極的な参加者にした」(97頁)ということです。

結局、産業革命が起きて、資本の集中、大きな資本がどんどん、大量生産へ向かっていく中で、労働者の状態が非常に悲惨な状態になっていったんですね。だから、社会の分裂、労働者階級と、資本家階級の分裂がはっきりし

ていく中で、手工業者が中心の労働部門も労働運動へ積極的に参加したって書いてありますね。こんなひどい状態の中で、親方制度みたいなのところも残ってるような労働部門なんだけど、労働運動への参加を積極的にした。この、エンゲルスの所見がなぜ出てきたのか。ここを解明できると、今日の労働運動を解明できるかもしれない。

広岡…そう・西武労働組合が、ストライキを打った。大手百貨店のストは約60年ぶりだとテレビ等マスコミ報道の過熱ぶりにはびっくりしました。

厚生労働省の労働相談窓口に、申告する件数は129万件あった(2020年度)。今の労働組合にそういう問題を相談できなくて、国や県に労働問題を訴える。

小林…本来は労働組合に相談に行かないといけないのに。

広岡…確かに、組織率が悪いし、派遣も多いし、組合は頼りにならないとい

◆みんなの学習講座



西武池袋本店前で抗議活動をするそごう・西武
労働組合の組合員＝8月31日午後

う意識はあるかもしれない。もう、ストライキは死語になっちゃったのかな。司会…ストライキの話が出たところで、広岡さん「労働者運動」のレポートをお願いします。

労働者運動

広岡…はい、次の章「労働者運動」について説明します。この章の冒頭でエングルスは次のように述べています。

「労働者は人間を野獣化するこの状態から脱出し、もつとまじな、もつと人間的な地位を獲得しようとするやいなや、ブルジョアは労働者の公然たる敵となる」(103頁)

このことばを肝に銘じてレポートさせていただきます。

ここでは2つに分けて討論します。一つは、結社禁止法が廃止され労働組合の結成。二つ目は、チャーターリスト運動です。

結社禁止法が廃止

広岡…労働者の窮乏と貧困からブルジョアジーへの抵抗は、工業の発展と共に始まり、最初は犯罪でした。産業革命で機械化が急速に進み、多くの手工業者が失業し、工場が破壊され機械が打ち壊されました。この抵抗は、散発

的で継続的な運動にはなりませんでした。

そして、1824年、結社禁止法が廃止され「結社の自由の権利」を手に入れたためイギリス全土に広がり、労働者を「ブルジョアジーの専制と無視」から守る組合が結成されました。この労働組合の目的は、①賃金を確定すること、②集団を作り、力として雇い主と交渉すること、③雇い主の利益に応じて賃金を規制すること、④適当な時期が来れば賃金を上げること、⑤一つの職業における賃金は、全てどこでも同じ高さに保つこと。今日と比べてもしつかりした目的を持っていました。

労働者階級は長期にわたり敗北の連続でしたが、ストライキの重要性は「労働者間の競争」を廃止することです。この競争をなくす闘いをエングルスは「社会戦争」と言っています。

司会…今回は労働運動のところですから、労働組合がなぜ発生したかってい

う非常に大事などころの学習です。

佐藤…労働者の運動が始まる前は、結社の自由はなかったとどこかに書いてあったんですね。つまり1824年までは、結社禁止っていうことですかね。

広岡…本を読む限りではですね、地下組織として、そういう団体はあったんだらうけど、発展はなかった。でも、1824年に、結社禁止法が廃止されたんで、労働組合の結成が、イギリス全土に広がったって書いてあります。功刀…やつぱり、ここが一つのきつかけになるのかね。結社禁止法がなくなつて、潜^{もぐ}つてた運動が、堂々とできるようになったと。

城…結社禁止法の廃止はブルジョアジ―が労働者のために廃止したんですか。広岡…だと思えます。急進的なりベラル的な、ちよつと小ブルジョア的なちよつとお金持ちなんだけど、理想的な考えを持つてる人。当時は自由主義

的な機運の高まりが急進的ブルジョアジ―の中にあつたと言われています。

城…私は、労働者のゼネラル・ストライキを打つような社会的な影響によって廃止せざるを得なくなつたという説明の方が納得できますね。ブルジョアジ―が妥協せざるを得なかつたという意味合いの方が強いと思うけどね。

古屋…労働者の最初の抵抗は、非常に悲惨な労働状態の中で、我慢できなくて犯罪を起こすとか、放火をするとか強姦をするとかの表現がこの前の章のところではいっぱい出ています。機械の打ち壊しもそうですね。もう苦しい労働の状態を、発散するんだけど、それじゃあダメだつてことに気づいていて、労働者同士の競争をなくそうと闘いを始める。本文に「社会戦争」という風に表現してるって言葉がありますね。だから、労働者が徐々にだけ成長していったっていうところは、評価してもいいんじゃないかなと思う

んだけどね。

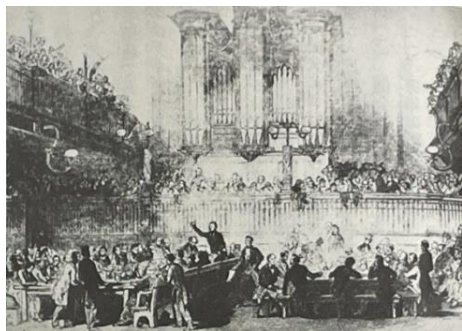
イギリス特有の、今言った急進的、リベラルなブルジョアジ―の影響も多少あつたかもしれないけど、やつぱりプロレタリアとブルジョアジ―との闘いですね、エンゲルスが言うのは。司会…では二つ目の課題、チャーティストについて説明をお願いします。

チャーティスト運動

広岡…1835年チャーティズム運動が始まります。これまでブルジョアジ―の法律であつたものを、プロレタリアートの法律に変えようと提案された法律が「人民憲章」です。この憲章により、ブルジョアジ―に対抗するプロレタリアートの政党として、チャーティズムができました。

このように、労働者運動についてエンゲルスは、①プロレタリアの反抗は犯罪であつた、②次に行われたのは機

◆みんなの学習講座



チャーティストの集会

械打ちこわしであった、③チャーティスト運動と共に労働組合の結成とストライキ、そして、それは競争をなくそうとする労働者の最初の試みであると言う。エンゲルスはこのことを「社会戦争」と表現しています。

そして、オーウェンを中心とするイギリスの社会主義の不十分さを指摘し、プロレタリアートの代表に成長したチ

ャーティズムと社会主義が結合するとき、プロレタリアートは支配者となるであろうと述べています。

その労働者運動の成長の過程は、現代の私たちの労働運動にも教訓的な内容となっています。

資本主義の世の中では、いかに人間が人間として扱われてこなかったか、また労働者の運動が人間の回復を求めることであることがよく分かります。

司会…ありがとうございました。チャーティズム運動から具体的に労働組合が出てくるわけですね。

広岡…リベラルな思い、特にそういう選挙権とかを頭に抱いていたグループをチャーティストとかチャーティズムとかいう風に言ってるみたいなんですけど、まずはね、選挙権を獲得することからスタートしたんです。それが、労働者と労働組合と一緒に活動を始めたんですね。

古屋…そこが大切だと思うんですね、

みんな労働が辛いわけですよ。その労働者の反抗の向き方が、資本家に向いたり、ラッダイトやったり、放火したり、そういう風にしてうつぶんを晴らしていたのが、みんなでなんとかとまらなければならぬとなつて、労働組合がつくられたのです。

司会…はい、以上でこの章の学習を終わります。イギリスの労働者階級の抵抗は、自然発生的な犯罪や機械打ちこわしであった。しかし、そこからは何も生まれないことを学んだ。プロレタリアートは労働組合を結成してストライキでブルジョアと闘うまでに成長していったことを学びました。今日の日本の労働運動にとつてもとても教訓的でした。

次回は、工業プロレタリアートと密接な関係がある鉱山プロレタリアートです。彼らは過酷な労働状態からストライキで闘うまでに成長します。